

八戸市体育施設整備検討委員会 様
長根公園体育施設視察＜資料＞

八戸市長根屋内スケート場 Y S アリーナ八戸

令和4年2月7日(月)
八戸市まちづくり文化スポーツ部
長根屋内スケート場

長根公園全体配置図



- 八戸市周辺は、冬季の降雪が少なく厳寒で空気が乾燥しているため、古くから貯水池はどこも格好の天然リンクだった。
- 明治中頃から、旧制八戸中学校(現:八戸高等学校)や八戸高等女学校(現:八戸東高等学校)では、これらの貯水池で氷上運動会が行われ、スケートがスポーツとして教育現場に取り入れられた。
- その後、大正15年に八戸スケート協会(昭和4年に青森県スケート連盟に改称)を設立、昭和4年に大日本スケート競技連盟(昭和21年に日本スケート連盟に改称)が設立された。
- 以降、第1回全日本スピードスケート選手権大会(昭和5年)、第1回冬季国体スケート競技会(昭和22年)を皮切りに、長根リンクでは数多くの大規模な大会が開催されている。

長根リンクの歴史

昭和4年(1929)	八戸市市制施行
昭和5年(1930)	第1回全日本スピードスケート選手権大会開催 (売市堤が長根リンクと呼ばれるようになる)
昭和22年(1947)	第1回冬季国体スケート競技会開催 (以降、冬季国体は全国最多の13回開催)
昭和25年(1950)	天然氷の400mリンクを整備
昭和44年(1969)	長根パイピングスピードスケートリンク竣工
平成15年(2003)	アジア冬季競技大会 スケート競技開催

【昭和44年の長根パイピングリンク】



出典:八戸写真帖

- 長根リンクは県内唯一の400m公認リンクであり、国内におけるスピードスケート競技の拠点として大きな役割を担ってきた。
- また、青森県のスケート競技の発展に大きく貢献し、大会利用・一般利用を合わせて、毎年7～8万人の市民等に利用されてきた。
- 一方、昭和44年竣工と、施設の老朽化が著しいことや、天候の影響により競技会運営に支障をきたすこと、利用できる期間が北海道や長野県に比べて短いこと等の課題を抱えていた。
- そのため、平成9年度から八戸市では青森県に対し、県立屋内スケート場の整備要望を実施。
- 施設整備に向けた検討を進める中で、市立施設として早期整備を目指すことで、平成25年12月に県と市で合意に達した。

これまでの経過

平成21～22年	県立屋内スケート場建設多角的検討事業開始
平成22年	先進施設利用状況調査 (長野エムウェーブ、明治北海道十勝オーバル)
平成24年	県が屋内スケート場整備構想策定
平成25年12月	県が屋内スケート場基本計画策定 市立施設として整備することで県・市合意
平成27年3月	屋内スケート場基本設計 完了
平成28年3月	屋内スケート場実施設計 完了
平成28年10月	屋内スケート場本体工事 着工 (令和元年6月竣工)

【長根パイピングリンク】



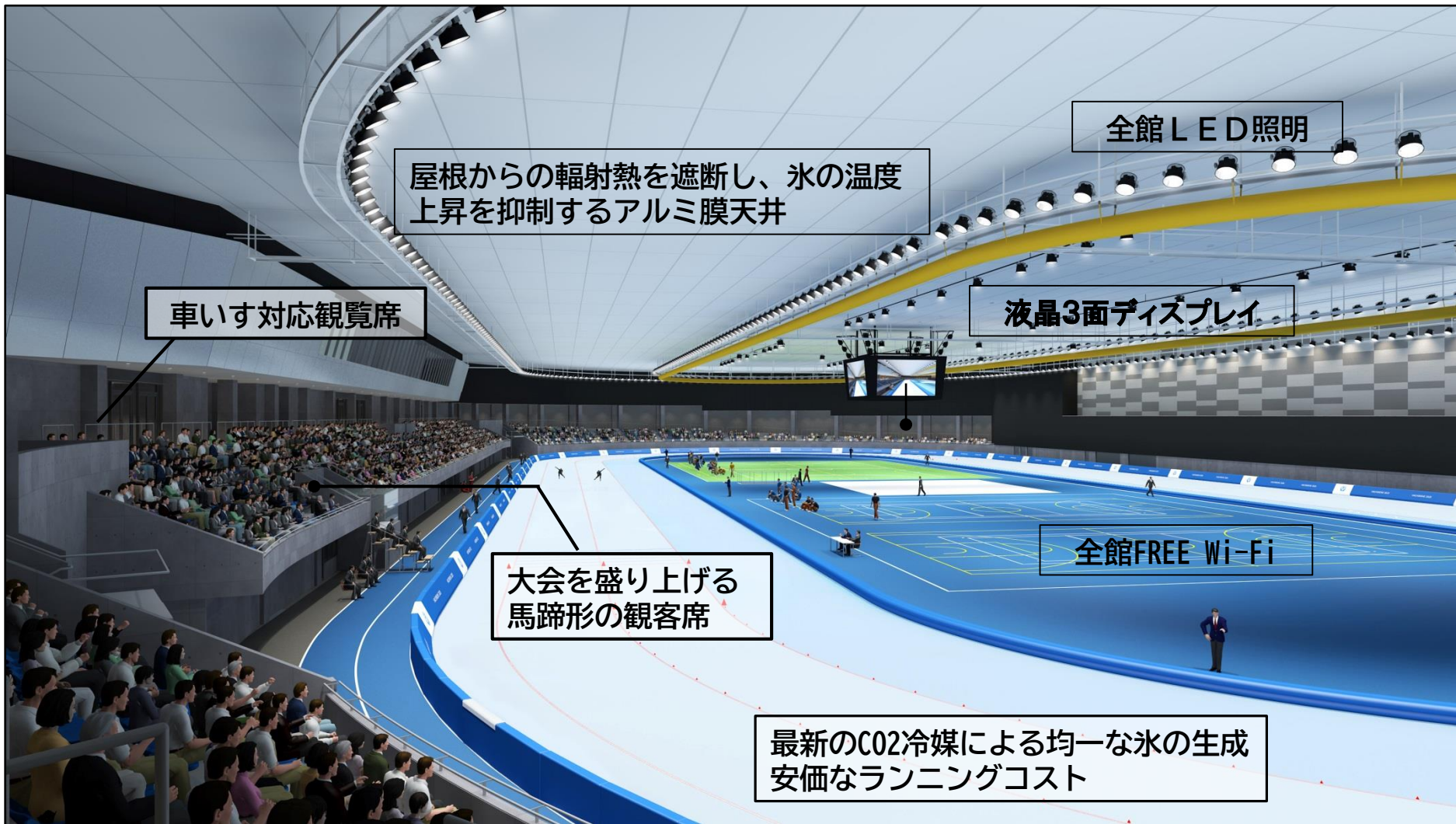
出典: エスプロモ(株)ホームページ



施設概要

竣 工	令和元年6月(令和元年9月29日供用開始)
構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造(屋根：鉄骨造、下部：鉄筋コンクリート造)
規 模	敷地面積：62,274㎡ 建築面積：22,308㎡ 延床面積：26,274㎡ 高さ25.4m
リンク	国際規格400mダブルトラック リンク幅：16m
観客席	3,045席(固定席：3,019席 車いす席：28席)
中 地	人工芝コート(33m×42m) 多目的コート(33m×42m)※オフシーズンは全面利用可能
ラング 走路	1周480m(1.55m×2レーン)
トレーニング 室	193㎡ ※スケート競技者に特化したトレーニング機器を整備
会議室	多目的室(200㎡)×1室 大会議室(140㎡)×1室 中会議室(70㎡)×2室 小会議室(30㎡)×10室
その他	1階：医務室 選手ラウンジ ドーピングコントロール室 シャワー室 2階・3階：ホワイエ(ラウンジ) 交流サロン 観戦ロビー
大型モニター	4m×6m 中央吊り3面
照 明	LED照明 照度
駐車場	普通車600台 大型バス6台 車いす用8台

施設の特徴

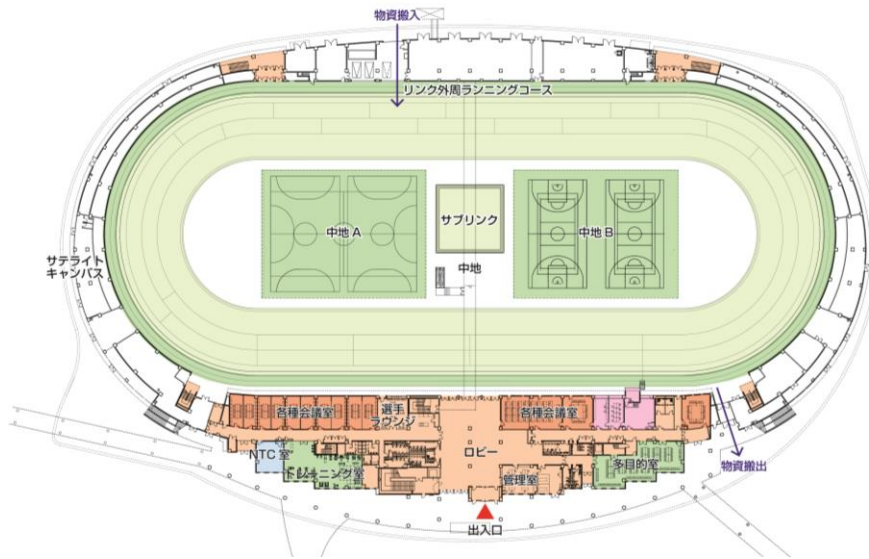


※このほか、車いす対応エレベーター(2基)、車いす用シャワー室(1室)、授乳・おむつ交換室(2室)、階段手摺りへの点字表示、多目的トイレ(5基)

施設の多目的利用



一般利用時



(スケートリンク)

- ・ 個人利用
- ・ 学校体育

	元年度	2年度	増減
利用者数	44,799人	33,988人	▲10,811人

(人工芝・多目的コート)

- ・ サッカー
- ・ フットサル
- ・ バスケット
- ・ バレー
- ・ バトン等

	元年度	2年度	増減
利用者数	5,287人	15,931人	+10,644人

(会議室)

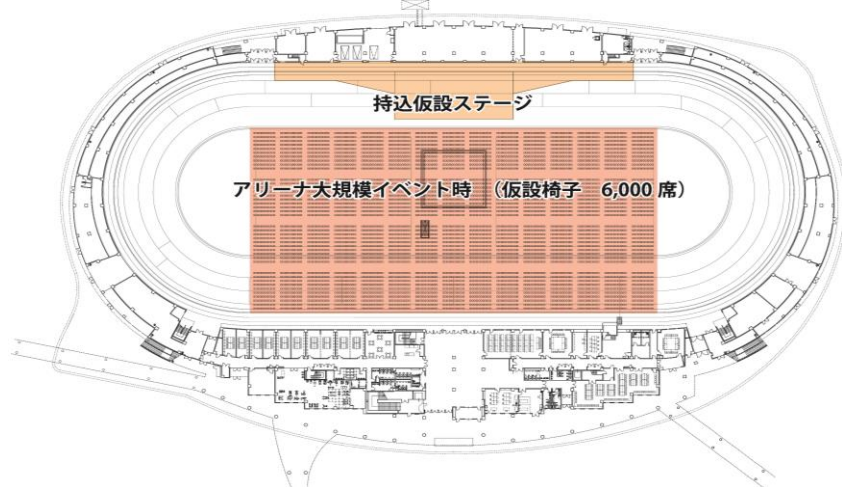
- ・ 講演会
- ・ 企業研修会
- ・ 趣味サークル活動等

	元年度	2年度	増減
利用者数	3,343人	10,132人	+6,789人

(参考) 入場者数

	元年度	2年度	増減
利用者数	138,970人	131,001人	▲7,969人

大規模イベント利用時



- ・ 1階アリーナ席 (仮設) 6,000席
 - ・ 2階観覧席 (固定) 3,045席
- ※全体で約9,000人収容

これまでの利用状況

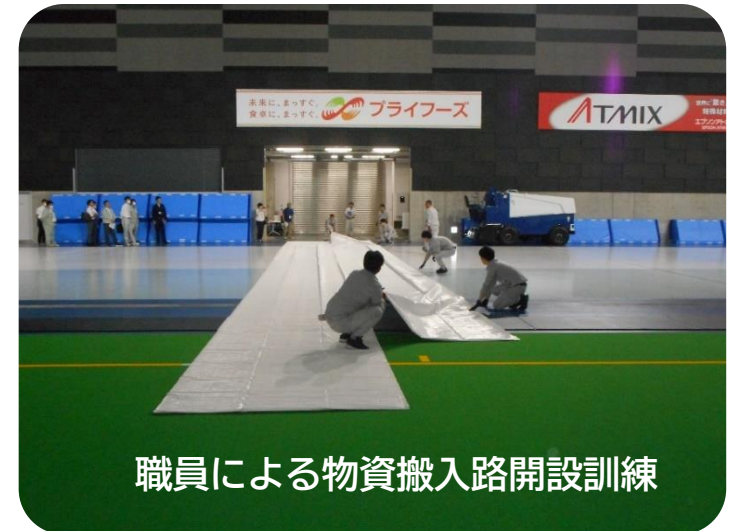


平成23年3月11日発生 of 東日本大震災時、長根公園は物資集積拠点として活用
→物資を保管するスペースが不足し、軒下にも配置



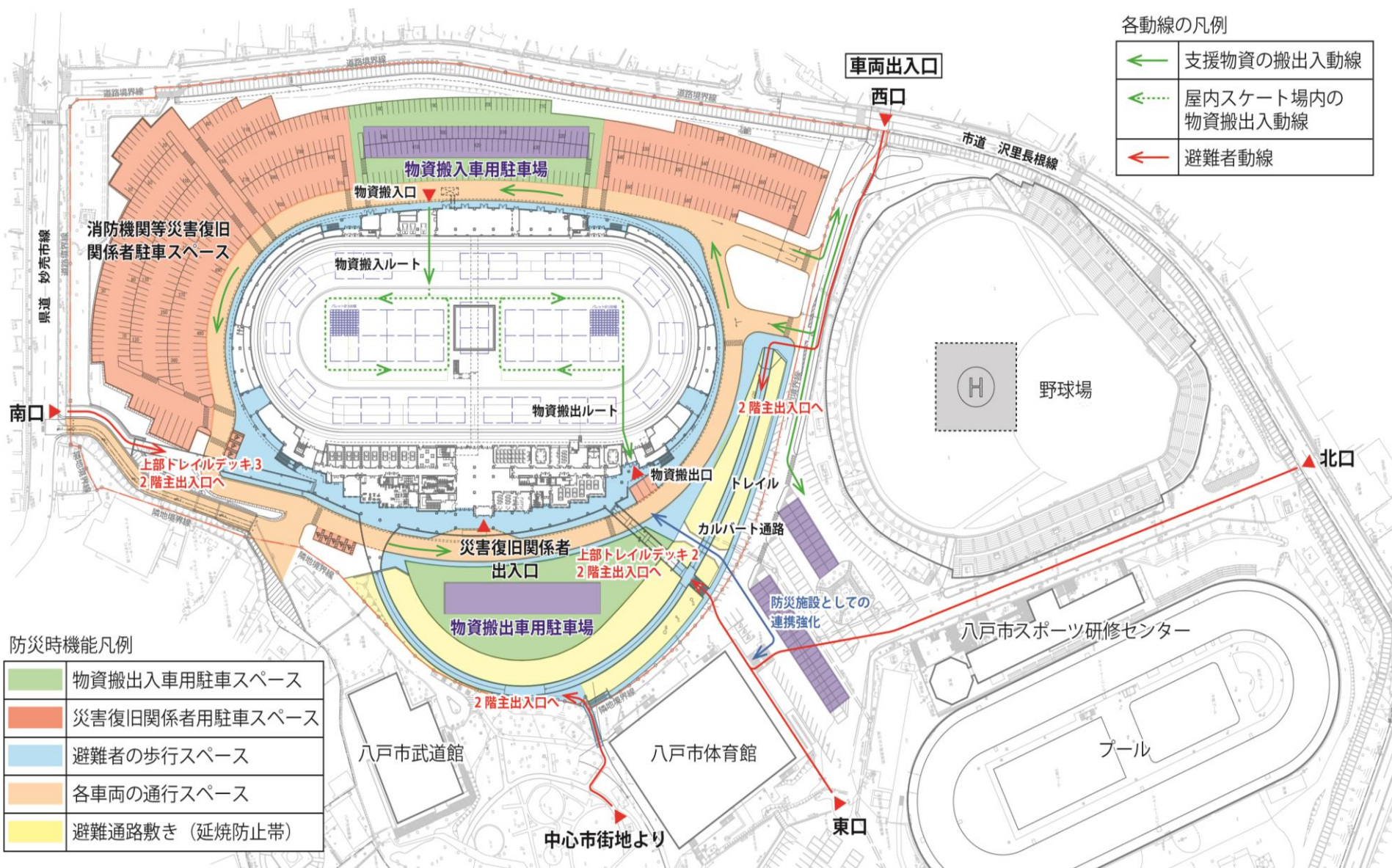
「地域防災拠点」としての長根屋内スケート場

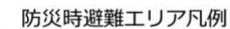
- ・ 一時避難者 約8,000人収容可能
- ・ 災害支援物資の集積場 (約12,000㎡)
- ・ 災害支援車両などの駐車場 (約10,000㎡)
- ・ 防災備蓄倉庫の確保
- ・ トイレ用雑用水として地下水の利用可能
- ・ 非常用発電機 (連続運転72時間以上)



職員による物資搬入路開設訓練

防災時の機能





①		避難者の一時滞在スペース（災害発生1日目限定） 災害支援物資の集積スペース（災害発生2日目以降）
		避難者の一時滞在スペース（災害発生1日目以降）
		災害復旧関係者スペース
		避難者利用トイレ
		防災備蓄倉庫
		廊下、ロビー等の通路、その他
②		災害支援物資・その他
		防災機能維持の為に必要な機械室、その他